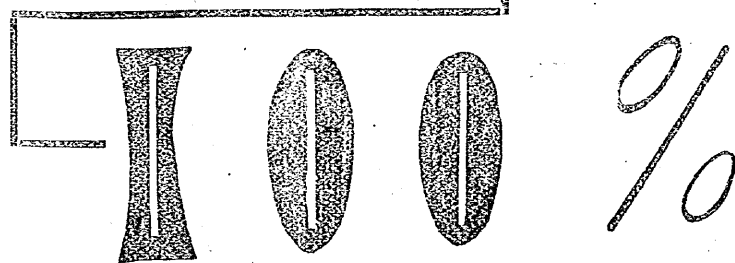


産 天 然 智 利 硝 石 二 作 烟



特 徴

- ▲鹽基性窒素肥料ですから土壤を酸性にしません
- ▲主成分は硝酸態の窒素でありますから速効性で無駄なく作物に吸収利用されます
- ▲副成分である曹達は土壤の酸性を消します尙曹達は加里の代用を勤めます
- ▲其他植物の刺激強壯劑となる種々の有効副成分と土壤中の有用細菌の繁殖を助ける沃度を含んでゐますから作物の生育を良くし収量を増し品質を良くする効があります
- ▲土壤中に萬遍なく行き亘る力が強いから根を張らせ早魃寒害に對する抵抗力を強くします
- ▲空氣中の濕氣を吸収し自分で溶解する力がありますから常に土壤に適度の濕氣を保たせます
- ▲其儘地面に撒布しても肥料成分の逸失する憂がありません

東京市丸の内 三菱商事會社内
智 利 硝 石 普 及 會
(説 明 書 進 呈)

大正九年六月十五日第三種郵便物認可

大正九年六月十五日第三種郵便物認可
昭和十一年十二月廿日發行(毎月一回二十日發行)

農事月報 第二〇一號

農事月報 第一八〇號

農 事 月 報

第二〇一號

昭和十一年十二月號

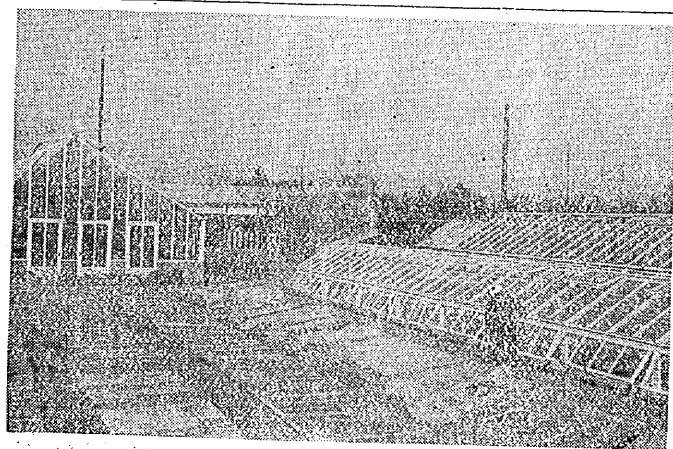
埼玉縣立農事試驗場内

踏 霜 會

振替東京七六一八三番

目 次

寫真 温室(本場園藝部).....	一
水稻の品種生態性に對する管見(四).....	二
農産額市町村順位(一).....	三
肥料小賣相場.....	四
簡易土性調査見聞録(一五).....	五
冬採甘藍の栽培法(三).....	六
低湿度と光線との調節による新栽培法.....	九
讀者の關夏作果菜類の整地に就いて.....	二
質問應答.....	三
購讀申込者名並に同紹介者名一覽.....	七
一月の農家行事.....	七
農事試驗場便.....	八
▲本 場.....	八
▲玉井種藝部.....	八
▲越ヶ谷園藝部.....	八
▲入間川園藝部.....	九
昭和十一年總目次.....	九



(部 藝 園 場 本) 室 温

水稻の品種生態性に對する管見(四)



玉井種藝部 田口 技手

三、營養生長と生殖生長

(四)出穂期の變化性
營養生長と生殖生長との間には密接なる關係の存在することは前述せる通りであるが、品種に依り生育狀態では當然出穂し得ない時に出穂したり、或は、營養體の發育が何時迄も旺盛に過ぎ、又は、普通の生育をして居り乍ら出穂が著しく遅延することがある。斯様な現象は異狀環境を與へると特に明瞭に認めることが出来る。

此の出穂期の變化性といふことは、普通に栽培された場合の出穂期に對し、早晚何れかへ出穂期が移動することをいふ

ので、換言すれば出穂期の振幅の大小をいふのである。而してその差の多いものを變化性が大なりといひ、之に反するものを小なりといふ。

出穗期の變化性は品種の遺傳的特性であつて環境は一種の觸媒の如きものである。右に二・三の事項に就き述べよう。

先づ種苗交換といつて種苗を遠方より取寄せて栽培すると成績良好だといふので、良く慣行的に行つて居るが、概して良結果のものが多いが、餘り遠隔地から取寄せたものでは特に留意しなければならぬものがある。例へば寒地の水稻を暖地で栽培すると、不時出穂を招き出穂區々となり、或は出穂期が遅延するものがある。すると稔實悪く、收量が減少し品質も亦低下する。斯様な場合は苗代目數を短縮することに依り大體防ぎ得る様である。次に周知の如く、近年稀有の大

本縣總務部統計課調

△米		(昭和十年)	
順位市町村名	數量	價格	
一 熊谷市	一四、六七一 _石	四六、二三五 _四	
二 北葛飾郡彥成村	一四、〇八九	四〇、四六六	
三 同 三輪野江村	一三、五六七	四三、二八二	
四 同 吉川町	一二、五七七	四〇、〇九五	
五 同 早稻田村	一二、五六六	三七、四八八	
六 同 旭村	一一、六三四	三六、八五五	
七 同 八代村	一〇、九八七	二七、〇八六	
八 同 松伏領村	一〇、五八三	二九、七五〇	
九 川口市	一〇、二五〇	二五、八三三	
一〇 北葛飾郡田宮村	九、七六四	二五、七〇〇	
合計	昭和十年 同 九年	一、二五八、四八六 一、二六六、七四四	六、四九三、三四四 六、六三三、七四四

の結果、稔實不良となり、或は病虫害の発生を助長し、遂に未曾有の大減収の原因

因の一つとなつた。然るに陸羽一三二號や二一三の品種は所謂冷害を餘り蒙らなかつたが、此れは一つにはこの出穗期の變化性に歸因する。従つて出穗期の變化性の大きな品種に概して優良とは言ひ得ない。而して出穗期の變化性は品種に依り異なり、概して早生種が大なる様であるが判然しない。

扱、然らば本縣の獎勵品種といふと一般に變化性が小であるが、強いていへば早生種の方が中晩生種より大である。

此の出穗期の變化性の著しいものには農林一號、幾内千石、改良愛國等があるが、此等は栽培上注意しなければならなう。

最後に人爲的に出穗期を變化せしめる方法に就き、略述して此の項を終り度いと思ふ。

種子や幼植物に理化學的處理を施して

昭和十一年十二月五日

肥料名	單位	上尾	熊谷	越ヶ	入間
大豆 粕	一紋	二〇元	二二八	二二五	二二〇
(板)	(七貫)				
大豆 粕	一駄	三二五	三三三	四〇〇	三二五
(櫛)	(九貫)				
藥種 粕	一駄	四〇五	四八〇	四六〇	四六〇
(五貫)					
蠟 粕	十貫	三七七	五〇四	四二〇	三八五
蠟 粕	十貫	三八〇	一	四九五	四七五
蠟 粕	十貫	三三〇	一	一	三三〇
米 糠	十貫	一五五	一	一二〇	一五五
安	一駄	三三三	三三三	三三三	三三三
(內地)	(二貫)				
硫 安	十貫	三三三	三三三	三三三	三三三
(輸入)					
硝 石	十貫	三三〇	三三〇	三三〇	一
石灰 窒素	一袋	一七五	一七三	一八〇	一七五
(六貫)					
葉 灰	十貫	一二〇	一〇〇	一四〇	
過 燐	一駄	一二五	一二八	一二五	一二〇
硫酸 灰	(七貫)				
硫酸 加里	十貫	五三〇	五四〇	五五〇	五三〇
鹽化 加里	十貫	五三〇	五四〇	一	五三〇
備考					
藥種 粕は内地産					
蠟 粕は大羽粕、練					
粕は上物、米糠は地廻り、輸入硫酸は獨逸、					
石灰窒素は窒素二〇%、硫酸加里は水溶加里					
四八%					
鹽化加里は同六〇%					

驗を行つたのである。即ち作物を短日(作物を覆蓋して、一日の日照時間を短縮する)又は長日(作物を電燈照明に依り一日の照明時間を増加する)に處理するとに依り、出穗開花期が自然狀態のものと著しく異なつて來ることを認めた。その結果植物を短日法で處理した場合に出穗開花期が促進するものを短日植物といひ、長日法に依り出穗開花期を促進するものを長日植物といひ、反應なきものを中間植物と命名したのである。

此の研究が一九二〇年に公表されるや、驚異の的となり、此の方面の研究が世界各地に於て盛んに行はれる様になつた。稻に就いても本邦に於て澤山の人々に依り實驗され、育種交配上應用されて居る。例へば早晩の交配を行ふ場合に一月も出穂期が違ふと人工交配が出来ないが、短日法を施せば中晩生種は出穂期を

出穗期を變化せしめるのであるが、就中フォトペリオデズム（晝と夜との長さの比に對應して生物が反應する事實をいふ一日長効果・周光期律）とヤロビゼーション（溫度處理法）の二つが最も有名で効果的のものである。

米國農務省技師ガーナー氏が嘗て公園を散歩してゐる時に、街路樹の開花が、街燈に近い方と、反對側とで著しく違ふことに氣づき、光線と開花との間には何等かの特殊な關係があるのではないかといふことに着目したのが、抑々の動機となつて偉大なるフォトペリオデズムの發見を爲すに到つたのである。僅かな思索にもかゝる大發見の基となる故に吾人は大いに學ぶべきではないか。

然し、このフォトペリオデズムと命名する迄には澤山の植物や作物につき、一日の日照時間や光線の強さ等をかへて實

早め、早生種と同じ頃になるから交配も容易く出来る様になる。従つて稲は短日植物なることが認められるが、早生種は短日法を施しても出穂開花期に殆んど効果がない。此處にも品種に依る差が明かに認められる。

次にヤロビゼーション（ヤロヴィザチオン又はヴァナリゼーション）といふのは催芽種子又は幼植物を低温又は高温で一定時間処理する方法であつて、本法の影響はフオートペリオデズムの場合に良く似て居る。温度で斯様に處理することは可成り以前から試みられたのであるが、ソヴェット國のレセンコが一九三二年にかゝる實驗を試みて、ヤロビゼーションと命名して公表せられて以來、此の方面の實驗が概に盛んになつて居る。

水稻に就いてもかゝる實驗がなされたが、ヤロビゼーションの影響は未だ明か

な反應が認められて居ない様である。

扨然らば、何故前述せる様な具合に出穂開花期が變化するのかといふと、その原因は判明して居ない。唯出穂開花期が促進せられたる場合の植物體內に於ける種々なる變化が起ることは認められて居る。列舉すれば

1. 炭水化物の増加と窒素含量の減少（炭素率の増加）
2. 細胞液濃度及び其の酸度の上昇
3. 含水量の減少等

前記の如く植物體内の變化は認められるが、原因は果して何かといふと、一つの刺戟だと稱する人々、炭素率や水素イオン濃度の方面より説明せんとしてゐる人々等で矢張り詳かでない。

（未完）

簡易土原地調査見聞録 (五)

利根川下流域地方
農藝化學部 新澤 技手



日勝村 本村は沖積洪積層を有する所にして沖積層砂質の土性を除き

ては土性各種點在せり。篠津村方面より流下せる星川の水流を（本誌一九七號挿圖参照）村北部に受け、遂に一は白岡驛南より實ヶ谷字天神下、他は千駄野字菱沼を各々通過して岡泉字新田中附近にて合流して日川として慈恩寺黒濱村境を流下し、洪積層土を流失し新に沖積層を沈積せり。かゝる作用の行はれ得るまで上野田方面も、同様に根泥流を被りたるならん西ヶ崎・内大町・沖田耕地方面はボツ上に淺きは二十糎より五十糎の深さに沖積細粒土を沈積せるを見るは流勢の稍々

弱かりしを語るものと思はる。

日光御成街道を横斷せる用水堀現今二・三あるは上流湛水地方の排水のために設けたるものか、右街道本部、太田新井字新田・下野田字鶴ヶ會根等の水田は全くの洪積系掘田にして、表土三十糎下層或は表土よりボツを存し地力瘠薄なり。

太田新井字新田方面畑地は蔬菜の栽培盛んなるが土性細壤土を示し稍々砂質の感あり。又西部には小久喜の洪積層臺地あり近時山林の開墾せられたるもの多し前述の千駄野及實ヶ谷の沖積地帯を除きては洪積層に屬するを以て作物は肥料の如何に依りて左右せらるゝし事に注意し地力の涵養増進に努力せられんことを希望す。就中人尿尿の配給せられるる現況に於いては特に然りとす。

當村は農業經營多角なる様に見聞せり即ち北部水田地帯と南部蔬菜栽培地帯と

の中間に位し加ふるに果樹栽培あり土質又複雑なれば斯る状態となりたらんも一方村當局者の今日迄の指導も亦與つて力あつたものなるべし。

黒濱村 本村は東部日川、西部元荒川の水流に依り東西南部沖積層に圍まれ、中央部は洪積層にして、北部は日勝村同層に接續す。

東部日川は江ヶ崎字梅田・下耕地黒濱字保井・笹山字十九町の沖積細粒土水田地帯をなし字伊豆島にて元荒川に合流す西部は南新宿字中道・城字柳原・黒濱字岡野島・見和田の多くは畑地帯の沖積層細壤土にして、從來水害のため桑園として利用せられ居りしが近時梨苗の栽植せられ來りしは篠津村沿岸と同様、將來埼玉梨の名聲を益々高めるものと思はる右兩地帯は何れも地味肥沃なり。日川は沖積土流出起伏せるため字新井・笹山

と長崎との間に黒濱沼と稱する二沼を出現せり。下沼附近は砂質の土壤多し。

其他中央部は洪積畑地は表土比較的淺き細粒壤土をなし、山合地水田は掘田をなす。字南及江ヶ島方面には本木花卉及庭木の培養盛んなり又黒濱城址あり。慈恩寺村 地形黒濱村と近似せり。

東部は古隅田川、西部は日川及元荒川に圍まれたる沖積土を存し、中央臺地は洪積層にして日勝村及百間村同層に接續せり。西部沖積層は鹿室字中宿より古ヶ場字白根・上野字二番・一番と細粒土より漸次下流は細壤土となり肥沃の水田地をなす。

東部は小溝字外に於ける舊利根川なる古隅田川堤防を境界として徳力字西方面水田は沖・洪積層の複な雜る地域にして内牧村粕壁町方面より往時流入せる舊利根川の濫流を想はしめるものがあり。

之あるがため黒濱村内黒濱沼と同様名利慈恩寺下に慈恩寺沼の生成せられたるものならん。

此附近は一態深田にして排水不良地味の如何を問はず收穫高少き地域なり。

右の外中央臺地山合地の摘田及百間村境方面の摘田も地力低位なれ共後者は近時灌排水工事の施行後稍々生産力を高めたるが如し。

中央部畑地は所謂野方にして各種作物を栽培するも、就中鹿室の大根等は名あり、小職の本調査にて見聞せるに同じ洪積層にして土性も亦同様なるにも不拘本地域の茄とか或は他の蔬菜にて其品質他より良好なりと稱する場合度々なりき。其原因は何にか、吾々の調査研究の未だ及ばざるか察するに一蔬菜の肥培の要領を集團的に他よりも早く修得せるに依るものならんか。蔬菜等に關しては本調査

のみならず他日を待つて計画的に根本より特産物の試験研究に據るべきを以て今日はその以上言及しないこととする。

名利慈恩寺は過ぐる年焼失し本年その再建工事終了し盛大なる入佛會式もありしことは新聞紙上で讀者も記憶せられて居られんが、名僧慈覺禪師の建に立かり支那の慈恩寺の建築様式に依るものとか、昔時地方民の教化につき面白き古事あり、盛夏の候木像の悪者(俗稱大々將)を池中へ投入する古儀式なり。

水利の便よき地點なりしを以て相當勢力を有せし我利武者も住居せしは想像に難くはないが、それ丈文化も早くより開けしものと思はる。

以上を以て本誌第一九七號第四頁挿圖の十五ヶ町村の見聞記事は終了し次號よりは北埼玉郡不動岡町三俣村大桑村及び幸手領百間領附近の地勢に就いて概記し

て行く積りである。(未完)

冬採甘藍の栽培法 (三)

本場園藝部 松本 技手

五、栽培法



(一) 苗の作り方
(二) 苗の選抜

甘藍は元來結球する性質を持つて居るけれども不結球の甘藍と交雜し、又は栽培の適不適に依つて性質が退化して結球性を失ふものが澤山出来る。甘藍は葉球が出来なかつたならば殆んど何等の價値もない。だから栽培の方法を研究し、尙採種に依りては嚴密なる注意を拂ひ、結球の上進を圖らねばならぬは素よりである。併し是等の點に綿密周到なる注意を拂ふても尙且つ結球困難なものが出来る是等は苗の時代に於て既に性質を表はして居る。故に苗の時代に之を鑑別して結

球不良な苗を淘汰することが肝要である。

苗の鑑別は經驗の結果から得た所の熟練に依らねばならぬ。初めての栽培者には一寸至難な問題である。けれども常に苗の發育狀態を観察して居ると容易に會得することが出来る。今其鑑別法の標準を記して參考とする。

結球困難なる苗の特徴

- 一、腰高に過ぎる苗
- 二、葉端の甚しく尖れるもの
- 三、葉柄の甚しく長きもの
- 四、葉の密生せるもの
- 五、葉に深き鋸齒あるもの
- 六、葉の外方に開きたるもの
- 七、葉腋より分岐せるもの
- 八、葉面赤色を帯びたるもの
- (リ) 苗の數量

一反歩に要する苗の數量は土質と苗の

發育關係に依つて一律に申し難いが大抵二千四百本乃至二千七百本位のものである。故に苗を育てる場合移植の時には此の數の約倍の苗を準備して置かねば苗の淘汰を充分にやることが出来る。

(二) 定植

(イ) 時期 定植の時期は苗の發育狀態土質等に依つて異なるが、適期は普通苗が七八葉に生育した八月下旬頃である八月下旬頃は農家が最も多忙な時期であるため、往々定植期が遅れ、苗床に於て肥大し過ぎ植傷みを生じ小玉となるため市價安く且つ減收を免れない。故に定植期を失はぬ様努めねばならぬ。

(ロ) 整地 定植時期は一般に乾燥勝であるから敷地は成可く定植一週間程前に行ふが良い。先づ石灰を一反歩に約五十貫位撒布してから耕耘する。石灰を施用すると甘藍は強剛に生育し、病害虫に對

する抵抗力が強くなり收量を増加する。畦幅は地方の事情等に依つて一定するところが困難であらうが普通二尺五寸に作壟するが便利である。普通な土地では平畦の方が良いが排水の良い土地では揚畦を可とする。作壟の際畦の中央部に少々深き鋸幅位の溝を作り、植付二週間前に配合堆積した堆肥、鰹ノ粕、菜種粕、藁灰等を基肥として施し、軽く合ひ土を置く。

(ハ) 植付 定植するには成る可く曇天の日を選ぶか又は夕刻が良い。晴天であるといかに良苗でも植付後萎凋し活着に困難をきたすことになる。最初苗床に移植すると同様に充分灌水し土壌を濕し苗の根部には多量の土を付けて移植後掘取り、手具又は適宜の用器に入れ運搬し所定の距離に置き細土を覆ひ稍々強く掌で押付け活着の助長を圖る。

(三)肥料

甘藍は潤大なる葉を着生し、而も成長力の旺盛にして肥養分を多量に攝取する故に肥料は成る可く潤澤に施與せねばならぬ。多量に施せば、それだけ莖葉の發育良好で他の作物の様に肥料傷みをする憂は更でない。勿論其の結球歩合多く、而も葉球堅實驚くべき大球を産する。之れに反し肥料を節約すると莖葉の發育鈍く、結球歩合も少なく、加ふるに葉球瘠小で内容の充實不十分である。肥料節約に依つて生ずる減収は實に想像以上である、だから栽培者は此の點に注意し經濟的の肥料を多量に施すことが肝要である。甘藍に施す肥料の成分は、他の作物と敢へて變りはないが主に窒素と加里とが必要で、磷酸成分は前二成分より稍々少なく足る様である。普通反當窒素五貫メ、磷酸四貫メ、加里五貫メ位を標準

として施せば良い。

肥料の種類は夫々地方に依つて慣用肥料を異にするが、一面には近頃特殊の肥料を宣傳してゐるが要は、肥効確實で其の地方で最も經濟的のものを使用し、成分が略前述の標準分量になる様に配合すれば良い。從來各地で施して居るものは堆肥、人糞尿、鰵ノ粕、大豆粕、菜種粕米糠、過磷酸石灰、葉灰、硫酸加里等である。基肥は定植二週間前に混合し堆積せしめ置き植付前、畦の中央部に轆き込み補肥は定植後十五日乃至二十日を経て

根部が發育を始めた頃に人糞尿の腐熟した速効肥料と鰵ノ粕、過磷酸石灰、硫酸加里の如き肥料を少量甘藍の株間に施し人糞尿が土中に吸収せらるるを待つて第一回の土寄せを行ふ。第二回は莖葉が旺盛に發育を初めた頃、即ち九月下旬に第一回の反對側に人糞尿を溝に施し最後の土寄をなす。補肥の時期が遅れると自然結球の時期が遅れて減収することがあるから注意せねばならぬ。

今反當標準施肥量の一例を示せば次の如くである。

肥料名	總量	基肥	補肥		窒素	磷酸	加里
			第一回	第二回			
堆肥	300.000	300.000	100.000	100.000	1.300	0.200	1.800
人糞尿	300.000	100.000	100.000	100.000	0.600	0.050	0.600
鰵ノ粕	100.000	50.000	50.000	50.000	0.120	0.020	0.020
菜種粕	100.000	50.000	50.000	50.000	0.070	0.000	0.000
強過磷酸石灰	90.000	90.000	90.000	90.000	0.000	1.000	0.000
硫酸加里	300.000	300.000	100.000	100.000	0.000	0.000	1.000
計	1.250.000	1.250.000	390.000	390.000	2.090	1.270	3.420

(四)管理

甘藍は生育上常に水溫の供給潤澤でなければならぬ。特に成長の後半期即ち結球を始むる頃から必要であつて此の時期に土地が乾燥すると結球が遅れ、或は定植の時期に依つては其時期を早め爲に葉球瘠小となり収量が甚だしく減退する。だから結球を初める時期には特に水溫の供給を潤澤ならしむる必要がある。乾燥する場合には株際に粗堆肥又は枯草等を敷き詰め、土地の乾燥を防ぐが良い。

苗の選擇と移植に注意すると普通九割は結球するものである。結球するには先づ葉莖が極度に發育し、後徐々に結球を初むるのである。ところが初めての栽培者は最初から徐々に結球するもののやうに思つて結球の時期迄待たずに途中に於て抜き捨てて居るものが可成り多い様である。葉球の發育が極點に達した際に完

全に葉球を結ぶものと結ばぬものとは葉莖の發育状態が違つて居る。即ち結球するものは莖が短く、外葉と内部嫩葉との發育が甚だしく相違して其形態は恰も摺鉢狀を呈して居る。結球せぬものは莖が高く外葉と内部嫩葉との高さが殆ど同一で、而も外葉は椀形に内部に曲り、箒を逆様に伏せた様に却つて内部の方が高くなる。形態に於て斯様に違つて居る。之に依つて鑑別することが出来る。だから結球の時期となつて見込みのない形態のものは除去する。冬期に入つたならば風當りの強い場所とか、霜柱の強い土地では竹笹を立てて多少でも防寒すると品質の良いものが取れる。

中耕は補肥する都度淺く行い肥料に覆土し、尙根際に丁寧な寄せかけるのである。雑草は定植當時頻繁に發生するから隨時除草を行はねばならぬ。(未完)

低温度と光線との調節による新栽培法



越ヶ谷園藝部 古川 技手

植物は光線、温度、空氣、水、營養の五大要素がそれ／＼有機的に結合してある法則の下に生理が営まれてゐるのであつて、植物を自由に栽培するには、この五つを自由に扱ふ事を知らなければならぬ。過去に於ては水、空氣、營養を自由にすることが出来た。

最近の園藝は温室技術の進歩によつて温度の自由は得られたが最後に残されたのが低温度と光線の問題である。

筆者はこの二つに深い興味をもつ者であるが、すでに學者によつて研究の緒も開かれ、進んで園藝家によつてその實際上の應用が試みられつゝあり、幾多の新

[10]

らしい成績が生れつゝある。その二―三をこゝに御紹介申上げて御参考に供したいと思ふ。

(一)

「お盆の頃に百合の花を咲かせる方法」
六月に咲く鐵砲百合を一月遅らせて東京のお盆頃に出荷しては、考へただけで高價で賣れるに決つてゐるが、簡單な方法で譯なく出来ることであるから試みられたい。それは球根を冷蔵する方法である。

種類は晩生の黒軸鐵砲百合、五寸球を買へば一球一錢前後で購入出来やう(熊谷市郡農會内大里球根組合で販賣して居られる。)

石油箱の上下に濕した水苔を入れて球根を詰め十二月の初めに冷蔵庫に入れる温度は低い方がよろしいが、〇度以下にならぬ限り下げる。一―二度ならば上等

である。冷蔵庫は神田市場の市營冷蔵庫でも、東京附近の製氷會社、冷蔵會社でも一ヶ月三十錢前後で預つてくれる。四月下旬迄冷蔵して發根を抑制しておき、四月下旬に冷蔵庫から出して植え付ける。四尺幅に床を作つて畦巾八寸、株間五寸、植付前に充分肥料を混合して置く植付けた上に充分腐敗した堆肥を一面に撒布して乾燥を防止する。

二週間で發芽を了る。露地の黒軸種は草丈が出来ぬ事が缺點であるから、丈を伸すために周圍に葎、菰等で簡單な圍いを作り、猶烈しい陽をよしで防ぐ事等も價格を高める一方法である。

乾燥した時は灌水し、蚜虫驅除、除草等一般の管理は變りなく、やがて七月の初め頃から花が咲き中旬迄に切終る事が出来る。

本年度の市價は一束(百合は輪數を以

つて數へる習慣であつて一束十輪とし、一本一輪乃至三輪開花するから一束五―六本である)四十錢前後一本平均七錢前後に取引せられた。

即ち一箱で約五坪に植付け得られ、四百五十本切取り得られるとすれば

收入	三十一圓五十錢
支出	球代 四圓五十錢 冷蔵代 一圓五十錢
計	六圓
差引	二十五圓五十錢

實際の計算ではあるが少し利益がありすぎる。然し實際問題として最も恐ろしいのは球に潜在する「モザイク病」であつて、その發見割合が多ければ失敗となり少なければ大成功を見るのであるから球の選擇「モザイクの出ぬ球」を得る事が大切である。

右は低溫が發根、發芽を抑制停止せしむると云ふ事を實際問題に應用した一例

に過ぎぬので、あらゆる植物に亘つてかゝる現象を利用して時期、温度、期間の選擇によつて非常に面白い栽培が出来、又實際に經營に取り入れて思はぬ收入を得ることが出来る。軟化土當歸を眞夏の候に出荷する方法。夏に咲く「グラデラス」を秋に咲かせる方法等皆この實際的な應用である。

(二)

「十月に百合を咲かせる方法」

前述の方法で永く球を冷蔵すれば何月でも自由に開花させる事が出来るのであるが、あまり長期の冷蔵では球も疲勞するし冷蔵代も高價になる。そこで低溫が休眠期間を短縮すると云ふ理論の應用として掘上直後強制的に休眠せしめて根の發生を促し花を促成する方法をとる事が出来る。

鹿兒島、沖縄方面の高溫地等に栽培せ

られる鐵砲百合は俗に「大島鐵砲」「エラブ鐵砲」等と稱せられ掘上時期が早く、商人から手に入られるのが六月上旬であるから、これを購入使用する。

六寸球石油箱一箱二百三十球前後、水苔を上下に入れて入手直ちに六月中旬に冷蔵庫に入れる。温度は三―十五度前後この冷蔵は前述の場合より稍高くても差支へない。即ち八度前後でもよい。

冷蔵期間五十日、八月上旬出庫、直ちに床に植付ける。八寸×五寸、深さ四寸位とし、充分肥料を與へて置き、床上に腐熟堆肥を充分與へる。猶最暑中であるから冷涼の地の西陽の當らぬ濕氣の多い所をえらび、葎簀を二尺の高さに覆ふて日除けをする。

常に灌水し、追肥を充分に與へて十月に入れば可成暖かに保てば、十月中旬より切取り得られ、十月下旬には收穫を終

る事が出来る。

草丈二尺前後、本年の價格は一本二輪平均一輪八錢前後、一本に付十五錢位となる。荷造りは十輪を以つて一束とする一箱で三坪強となり二百三十本切花となし得るとすれば

收入	三十四圓五十錢
支出	球根代 十一圓 冷蔵代 五十錢
計	十一圓五十錢
差引收入	十三圓

實際の計算ではあるが、之も少し利益が多すぎる様に思はれる。實際問題としては之も「モザイク病」の爲め萎縮し終るものが少くないから球の購入に最も注意を要する。

右は低溫が休眠を強制して發根、發芽を促す、と云ふ學理を實際問題に應用した一例であるが、あらゆる植物に亘つてこの現象を利用して面白い栽培すること

[11]

が出来る。すべて休眠期をもつ植物は、その休眠中には如何なる光線、温度、湿度を與へても決して成育を促進せしむる事が出来ないが、冷蔵を行つて休眠を破れば、忽ち成育を開始する。之によつて發根、發芽期を促進せしむるのみならず開花迄の成育に要する期間を短縮せしめ得るから、收穫は一層早められる。之を温室、温床栽培と並用すれば非常に面白い結果が得られる。例へばチューリップを十二月に咲かせる方法、アマリリスを十二月に咲かせる方法。タデ、チソの年中栽培法、前々皆この應用である。

又冷蔵に當つても、乾燥冷蔵、濕氣冷蔵。發根前の休眠中の冷蔵、發根中の冷蔵、發根後の冷蔵等に分けて考へられ、各々植物生理の微妙なる作用を組合せてよろしい栽培技術を開拓することが出来る。

讀者の欄

夏作果菜類の整地に就いて

入間福岡 吉 野 生

果菜類には茄子、胡瓜、トマト、瓜類等多くの種類があるけれども、之等の露地栽培を行はんとする場合、いづれも早熟出荷する事が最も有利であると思ふ。

當地方に於ても近年盛に之等夏作果菜類の栽培が試みられ、早春より温床育苗に直播ものに競いて管理の綿密を期しつゝ、あるは皆之れ多収を望むは勿論であるが一日も早く收穫せんが爲である。

併し乍ら移植ものにして、直播ものにしてても定植後及發芽後兎角生育不整遅々として

進まず、時には之が爲め周到なる管理の下に育苗せしものも、圃場にありて生育悪くして折角の早熟栽培も水泡に期する場合が往々ある。

此の原因を調査する時、多くは四月下旬、五月上旬の寒害によるものとしてゐるけれども、筆者は數年前から此れが一因として整地方法に大なる關係がある事を認めてゐる。

即ち最近においては保温防寒用としてバラフィン紙等の莫大なる努力と経費を以てても尚且つ被害あるを見る時、吾等は更にその土壤其のものについても、育苗の如く意を注がねばならない。

現んや、之が營利的早熟栽培たるに於ては尙更等閑視する事は出来ないと思ふ。

以下淺學乍ら筆者が比較的好成績を得たる整地法に就いて記する事とする。

當地方は概ね耕土深き壤土であるが秋季前作物收穫後四尺、六尺の果菜類所定の畦幅によりて麥を播種し、時には間作として菠薐草等を栽培し、翌春四月上旬播種定植に先立ちて耕起均平ならしめて基肥を施用する整地法が一般に行はれてゐるが筆者は一昨年冬期農閑期利用して次の様な整地法を試みに行ひし

が、其の効果大なるものがあつた。

即ち十二月下旬間作せる菠薐草を收穫し所謂寒肥として反當稀薄下肥三百貫位畦間一面に施して數日後深く耕起しておき充分土壤を風化せしめる。斯くする事に因て前作物の莖根は完全に腐熟し、病虫害も幾分除去され土壤は膨脹となり、耕土は深くなり地味は著く改善せられる。

斯くして三月上旬更に中熟堆肥二百貫、石灰三十貫位畦間一面に散布し、尙一面耕起する。此の際は土壤は風化され、可成作業は行ひ易くなるが、耕起したるまゝ均平せずにおき、四月中旬基肥施用に際して整地をなすと言つた方法であるが、果菜早熟栽培の整地法として前記の方法よりも遙かに生育結果共良好である。尙注意すべき點は間作の麥が生育盛に過ぎ後の作業に支障を來す事が往々ある故、麥は僅少の元肥によりて播種せらるゝ事が肝要である。(完)

讀者、踏霜會員の投稿歓迎

質問 應答

△毎月末迄到着のものを翌月號に答ふ

冷蔵庫は生産物の貯藏に主として用ひ

られつゝあるが、栽培過程の一つとして之からの園藝家にフレイムと同様に考へねばならぬ時代も遠くはないと信ぜられる。(未完)

△輻輳の時は次號題しとすることあり

△質問の取捨は編輯係に御一任のこと

穀 菽

△問 埼玉糯十號は何故原種とならぬか

(比企郡中山川島生)

△答 多収の實用型糯品種であることは既に認めてゐる。但し年柄により品質上原種とするに考へさせられる様な現象が生じるので目下研究中である。(尾形)

△問 水稻不作不知埼七號豐作の時は芒長く、不作の時は芒短かし其の理由

(大里奈真篠田)

△答 栽培條件其の他の事情の變化によつて御質問の様な事も絶無とは云へまいが概念的には寧ろ反對ではないかと思ふ。例へば乾田で短芒のものも濕田では長くなる事實を認める。それは結局濕田では蒸發をより以上させる必要から起る自衛作用である。同様に豐作年は概して天候が順調であるから其の必要が少ないから短く不稔天候で多濕の年には必要が

多いから長くなるものと見るのが普通の解釋であると思ふ。要するに御質問の様な現象は或る特殊事情に支配されてゐるものでないかと考へられる。(尾形)

△問 水稻新奨励品種埼玉新早生栽培に當りて苗代日數を三十日前後とするには播種期及挿秧期は何時頃がよきか但し當地にては五月十一十五日播、六月下旬一七月上旬植なり。(秩父町N生)

△答 月報五月號を披讀せられたら判る様に假りに苗代日數を短縮されても御地で該品種を栽培されるのは甚だ危険と考へられる。(尾形)

△問 水稻撰一、葉が黄色にならず節が黒くなり葉は白褐色となる如何なる原因によるや。(北埼玉田原名板島田)

△答 被害稻の現物、耕種法等を調査した上でなければ適確なことは中上兼ねるが、矢張り病害に依るものと思はれる。節が黒くなるのは稻熱病(節稻熱)が菌核病(別名稈腐病)葉は白葉枯病の被害かと思ふ。(家村)

[14]

△問 本縣にて水稻農林二號の適否、品質、收量等御教示を乞ふ。

(比企川島飯島生)

▲答 水稻農林二號は兵庫縣立農事試驗場に於て新開取を母とし、畿内第一八八號を父とせる人工交配に依り育成せられた優良新品種であるから關西地方の如き暖地に於て之を栽培する時は品質、收量共に良好の成績を納め得るが本縣に於ては出穂成熟共に奨励品種の不作不知埒七號に遅るゝこと約一週間なる爲晩生に失し、特に昭和九、十兩年の如き不稔天候の場合には不完全米多く品質を著しく低下し收量も亦減少する危険があるから適品種と云ふことは出来ない。(小松崎)

△問 稻熱病豫防法として稻稈のフォルマリン消毒は有効なりと聞く其の方法

(月報愛護生)

▲答 種籾を選種したる後一晝夜浸水して之を五十倍のフォルマリン液の中で二時間乃至三時間浸して消毒するのであつて其の時間經過したものは直ちに取出して充分に水洗をすること。之を陰乾して貯蔵するか又は浸水し

てから苗代に播種することになる。消毒は日陰で行ふこと、藥の濃度と時間とは嚴重に注意して行はねばならぬ。(永島)

△問 摘田地に適する、早冷にも湛水にも抵抗性大なカジメ種の農事試驗場に有無竝に有れば配付せらるゝや。

(入間毛呂森)

▲答 無し。(田口)

△問 水稻兒玉錦を丈低く作るための施肥法、肥料、挿秧期其の他の注意

(秩父國神黒澤)

▲答 草丈は品種の遺傳的特性なる爲耕種法に依つては餘り變へることは出来ないが、育苗法に注意して健苗を養成し適期に挿秧し窒素質肥料の過用を避け磷酸や加里肥料の併用等に依つて稻を強健に生育せしめれば多少は草丈を低め得よう。(田口)

△問 十月上旬成熟する當地方深田に適する水稻品種名(入間福岡吉野生)

▲答 御申越の條件では愛國又はそれに類似のものであらう。(尾形)

△問 本縣平均米の生産費

(北足立小室篠田)

▲答 當場では調査をして居ないが、今月六日頃の新聞紙上に、縣農會の調査をして本年度の全縣平均一石當生産費は二十六圓四十七錢と記載されて居つた。然し詳細はよく分らない。(森)

△問 米の最高最低價格決定法

(北足立小室篠田)

▲答 米穀法の規定により、生産費家計費及び物價指數と米價指數との關係より算出せられたる米價を基準として、農林省に於て決定されるもので、其の計算法は複雑して居り簡單には説明し難い。(森)

△問 小麥埼玉一二五號は秩父山間地方水田裏作に適否埼玉廿七號との比較

(秩父N)

▲答 小麥埼玉一二五號は極早生、短稈なるを以て本縣東南部地方の水田裏作に好適なるも秩父山間地方に於ける水田裏作には適せざるが如し。
尙埼玉二十號との比較については當場出版の

[15]

本縣奨励品種特性表を参照せられ度し(吉野)

△問 大麥年々二月頃より葉黃色になり縮むは如何なる理由か。(北埼玉深内田生)

▲答 立枯病ではないかと思はれる。年々集團して發生する状態なれば寧ろ他の作物に代へた方が宜い。又畑一面に發生する場合は立枯病の場合もあり、其の他の病害の場合もあるから二月頃發病の際に標本となるものを根から抜き取つて送つて貰ひたい。調査の上回答する。(永島)

△問 麥黑穗病の豫防法(大和田森田)

▲答 麥の黑穗病は冷水温湯浸法の方法によつて種子を取扱へば本病を完全に防除することが出来るから普通種子を播く時期に勵行されると宜い。現在では各町村農會又は農事組合等で關係者が種子を持ち寄りて實行されて居る所が多いから其の際に共同作業として實行されると宜い。又從來實行されて居る様であれば其を實行される様に努力して完全に防除されたい。冷水温湯浸法の方法は町

農會で判明すると思ふから省略する(永島)

△問 小麥埼玉一二五號は何時より配付せらるゝや本年度川島領に試験栽培の有無。(比企川島飯島生)

▲答 市町村農會又は農事組合等の經營する採種圃に對し明年十月配付する豫定である。農家個人の栽培の爲めの配付は出来まいと思ふ。三保谷村の小久保氏が郡農會委託の水田裏作小麥品種試作地を經營して本年同種を栽培した答である。(尾形)

△問 大麥關取、小麥埼玉二十七號、白グルマに反當左記量の肥料を施せり、御批評を乞ふ。

堆肥一五〇〇、藁灰一五〇、完全三〇〇、(蜜素七、磷酸七、加里一・五)

(三枝榮太郎)

▲答 位置が明記してないので何とも申し上げ難いが、肥瘠の程度中位三要素の効果も極端に大小のない處であれば、田、畑何れにしても無難な肥料かと思はれる。此の程度の肥料

ならば、品種關係等強いて考慮する必要はない。(家村)

△問 水田裏作小麥栽培上、肥料は播種後施すと、施肥後播種するものとの可否

(北足立小室篠田)

▲答 普通ならば(整地播)施肥後播種すべきものである。然し不整地播の場合は間土及覆土が困難なる爲播種後肥料で覆土に代ふるより他に方法がない。肥効に於ては殆んど影響はないと思はれるが、時に發芽を害し、雨雪に依り流亡する恐れは播種後施肥するもの、方が多い。(家村)

△問 水田裏作小麥の施肥量は畑作よりも多く施すべきや否や。(北足立小室篠田)

▲答 栽培の様式(目的の收量)に依り、又畑の場合は前作物の種類施肥量等に依り一概には云へないが、普通ならば田は畑に比し幾分施肥量を増量すべきであらう。然し之が爲に成熟遅延し、跡作稻の插秧に支障を招く恐れのある處は畑と同量か或は幾分控へ目に施さ

なければならぬ。特に堆肥、厩肥の類は相當加減する必要がある。(家村)

△問 本年度水田裏作小麦に反當元肥硫酸五ノ、過燐酸石灰五ノ施せり。追肥は如何。(比企川島飯島生)

△答 追肥の必要を認める。加里肥料を反當成分にして一ノ二一三〇〇〇位、生育の如何に依つては二月下旬―三月上旬人糞尿を稀釋して反當八〇ノ位。加里は早い方がよい。(家村)

◇農具

△問 人力用穀摺機の優良なもの二、三(土田及遠心力應用のもの)の販賣所及價格。(秩父生)

△答 泰式穀摺機(土田)金拾四―五圓、大里郡玉井村渡邊農具店、岩田式人力用穀摺機金四拾圓位。東京市荒川區月暮里町八ノ七八四岩田兄弟工場、興國穀摺機金貳拾三―四圓東京市瀧野川區瀧ノ川町二二六七興國農具商

會。(稻村)

△問 新聞廣告に見るライオン式手動式製粉機は確實なるものか。

△答 實驗しない事なきも相當使用し得らるゝものと認む。(稻村)

△問 農家自家用(一戸)の簡単な精米麥機。(入間飯能宮下生)

△答 左記のもの優良と認めらる。(稻村)
カンリウ式精米機
大阪市港夕區日町一丁目
大阪精米機精製所

清水式家庭用精米機
東京市神田區五軒町三番地
清水商店

須藤式精米麥機
東京市淺草區駒形町一ノ六
栗辻商店

◇蔬菜

△問 茄子、トマトの立枯病と青枯病と

の豫防に石灰窒素反當二〇ノ施用する様某誌にあり。かく多量の石灰窒素を施して自由に害なきや。(秩父小鹿野見玉生)

△答 石灰窒素を消毒剤として使用する場合は反當二十貫を使用する。只肥料分として見るときは窒素分が大分に多いから之の點は肥料を與へる上に充分注意せねばならぬ點である。作物の生育は寧ろ育ち過ぎる位である。(永島)

△問 温床用油障子用糊及油の品名使用法。(北足立加納愛讀者)

△答 糊は糊に少量の生絞糊を加へ柿澱を加へて溶く、油は在油に約一割の石油を加へ暖めて用ゆるがよい。(小川)

△問 枝豆の優良品種名、栽培上注意すべき點。(一農生)

△答 早生種としては黒魁、袖辰、中生種としては中生大莢、晩生種、彼岸豆注意すべき點
一、播種期を誤らざること。

二、莖科作物なりと雖も或程度迄莖の長きを望むため相當窒素肥料を施用すること。

三、播種は一箇所二粒宛行ひ發芽後缺にて一本残し他を刈取ること。

四、收穫後結束を完全に行ふこと。(坂藏)

△問 結球白菜の根にコブ生じ其の儘枯るゝを見受く病名防除法。

(秩父小鹿野見玉生)

△答 白菜根腐病の被害であらう。普通に八月、九月によく發病する酸性土壤に發病が多いから石灰を反當三〇貫乃至四〇貫を普通に施して土壤を豫めアルカリ性にするこゝが本病豫防には最も効果がある。發病地は四―五年十字科作物以外の作物を作ることも必要なことである。根に瘤の出来るのは害虫ネマトダに依つて被害された場合も瘤となり、本葉四―五枚迄の頃までは良く枯れるのを生ずる。何れも將來に影響するから標本となるものを四―五本送つて貰ふと都合がよい。調べた上で通知する。(永島)

△問 十月中下旬に根野蜀葵を採らんとす。盛土始めより收穫迄の日數

(入間福岡吉野生)

△答 大体九月二十日頃盛土して佳なるべし莖は刈取りて直ちに盛土するを佳とする。尚收穫期に達せしものは市場の相場如何により其儘相當期間おくことを得、九月中旬以後の盛土は氣温冷涼なるが故に發芽發育著しく不良なるべし。(小川)

△問 葱頭の秋定植の時期、寒害豫防の爲め淺植深植の可否、元肥の種類及施用法。(比企中山川島)

△答 秋期定植するにせよ十一月中下旬を佳とし倒伏の憂ひなき限り成る可く淺植へを良しとするも霜柱のため浮き上がるが如き土地に於ては深植へをするがよい。防寒法としては表面に粗堆肥を敷くか或は紙殻を撒布するも一法である。本縣の葱頭栽培としては移植法は直播法に比べて其の成績が宜しくないから水田裏作とする場合の外成る可く移植法を

購讀者申込者名並に
同紹介者名一覽

自十一月十一日 至十二月十日

購讀者之部

關根 正義	久津間信政	岡田 光治
齊藤 美博	内河 満徳	奈良 勝明
稻橋 利文	福島 健一	内田 政治
伊佐山重雄	増田傳兵衛	仲 常平
小川 一美	田島 正男	伊藤 清信
竹内 鼎	川久保景司	増田 喬
山口 武芳	石井倉之助	細野順作外九名

小澤勝右衛門 一名 關根 勇一 一名
高野光之丞 三名 長島 元重 十名

一月の農家行事

小寒 六日 土用 十七日

大 田 作 業

◎ 麥 類 作 物

麥類の手入
陸奥地方は乾燥の程度に應じ乾燥する時及砂
質土地方は種とその他に種を併用する。こ
こは、第一回中、下旬に行ふ。返込む土に
約二三分。細砕すること。

◎ 雑 糧 作 物

下旬 麥類の中耕、追肥。追肥としては人糞
尿或は硫酸の如き促進性の窒素肥料を施用

◎ 蔬 菜

- 一、寒作麥の手入
一、麥畦間の耕起(瓜類等を伴付する畑)
一、收穫 小松菜、京菜、菠薐草、小蕪菁、
胡蘿蔔、蓮根、葱姑等
一、貯蔵蔬菜の出荷 甘藷、大和芋、里芋、
大根、牛蒡其他
一、促成及軟化

◎ 果 樹

- 一、剪定 梨、桃、李、海
一、圃場の耕起
一、垣根及び柵修理

◎ 花 卉

温室の最盛期である。收穫はチューリップ
フリージア、アマリス、百合類、木切花の各
種、マリーチ、カーネーション、バラ等。
半促成花卉は水仙、百合、マリーチ、フリー
ジア等は硝子障子の下に暖かく保つ。チュー
リップは今月の障子かけは少し早すぎる。
前場は冬草の剪定、マリーチ等が收穫さ
る。

木本切花は地方の舊正月にあてて松、南
天、千両等が收穫せられる。

農事試験場便

◎ 本 場

温室温床 温室のカートネーションは目下盛
んに切取中、簡易温室のポインセチアの切取
も間近に迫つた。温室では胡瓜、菜豆、ナシ

の促成中である。

◎ 露地蔬菜 夏作蔬菜の收穫後寒作麥の畦間
の耕起等。

◎ 果樹 葡萄の剪定、同接穂、挿穂の採取、
苗木移植、柿の防寒、誘引用竹の洗滌等。

◎ 水陸稲 目下收穫調査中。(八日記)

◎ 玉 井 園 藝 部

十一月一鉢を以て冬作物の播種及び定植を
完了した。收穫時の悪天候に備へて死線な
越へた播種を要であつたが案じた程のことな
く發芽もよく早播のものに既に二三寸に伸
びてゐる。毎日家に定植した菜種は一面の露
雨もなく、そろ／＼咲き始まつた名物空つ風
に畑が上にも乾燥正に氣息奄々止むを得ず灌
水して僅かに枯死を避れてゐる。

◎ 圃場の作業が一段落となつて僅かに一部の
者で麥の手入をしてゐる。他は主力が室内作
業となつた。(七日記)

◎ 越 谷 園 藝 部

温室、温床、花丹 温室はポインセチアの
收穫を終つてフリージアの時代となる。棚下

◎ 入 間 川 園 藝 部

◎ 畑地 秋作の大根は大體平年作。白菜は作
柄悪しく早播のものは特に病害を蒙り約半作
見當であつた。牛蒡は作柄至つて良好。人參

はチューリップとアマリス、フレームは促
成用の菊と第二回のフリージア温床は目下菜
豆の成育中である。

半促成はチューリップの追肥を終り、二月
の障子かけを待つ斗り、畑は霜除けを終つて
冬の休眠期に入る。温室に入る木本類、正梅、
雪柳、コデマリ、落葉松、樟柳等それ／＼假
植を終る。

◎ 蔬菜 本月中旬に白菜小蕪菁菠薐草セリ
等の收穫調査が済まされ夏作に付準備の爲め耕
起し暨くべく大馬力を掛けつゝある。

水田裏作も大體作付終つたが排水不良で高
畦の間に二三位の深さに水の満ちて居る状
態が目下の生育に普通である。苗床夏作育
苗床はササ、糸葱、菰であるが菰は月末頃が
花盛りでササもほぼつち收穫出来る。

◎ 加工 白菜、大根の色々加工試験にも着
手し澤庵漬は乾燥の關係上月末に行ふ予定。
(八日記)

◎ 育 種

昭和十一年總目次

品種改良の方法

一、二、四、五、九月 雄崎 技手
蠶の一代雜種と稻の交配種
三月 森 技師

◎ 穀 類

水稻新獎勵品種埼玉新早生に就て
四月 尾形 技師

新品種と採擇せんとする場合の注意
五月 小松崎 技師

小麥粉の簡易貯蔵に就て
六月 稻村 技手

水稻の品種生體性に関する管見
七、八、九、十二月 田口 技手

分蘖苗に関する試験成績に就て
九、十、十一月 家村 技手

麥作に對する石灰窒素の用ひ方
九月 坂井

小麥新獎勵品種埼玉一二五號に就て
十月 吉野 技手

◎ 特 用 作 物

苧麻座談會 四、五、六月
菜種に関する二三試驗成績紹介
八月 松岡 技手

◎ 蔬 菜

牛蒡の開引方法に就て
一、二月 小此本 技師

枝豆の栽培法 三月 坂藏 技手
馬鈴薯の種薯に就いて
四月 城田 技手

温室ノロンが畑の南瓜に實る話
五月 古川 技手

漫筆古きノートより六月 杉 足 生
白菜の栽培に直直して

七月 本場園藝部
草蓐の促成栽培 八、九月 坂藏技手
冬採甘藍の栽培法 十、十一月 松本技手

温室温床の促成栽培と温度 十、十一月 金子技手
夏作果菜類の整地に就いて(讀者の欄) 十二月 吉野生

梨樹指導成績二、三月 坂口技手

花の博覽會開催 三月
花の博覽會開催 三月

低温度と光線との調節による新栽培法 十二月 古川技手

農具 十二月 古川技手
埼玉縣獎勵農具 一、五、六、七月 玉井種藝部

土壤肥料 一、五、六、七月 玉井種藝部
有機質肥料の蔬菜の收量並に品質に及ぼす影響 一月 坂井技師

簡易土性調査見聞録 一、二、三、四、七、八、十、十一、十二月 新澤技手

◇其 他

埼玉縣立農事試驗場練習生規程 二月

本誌の大革新 三月

本誌の革新に際して 四月 松本場長

質問應答 一、五、六、七、八、九、十、十二月

農産額市町村順位 毎月

農家行事 毎月

肥料小賣相場 毎月

購讀申込者名同紹介者名一覽 五、六、七、八、九、十、十一、十二月

◇彙 報

人事異動 六、七、八、十一月

農事試驗場便

場員異動 四、五、六、七、九、十、十一月

見習生研究生入退場者 一、二、四、五、六月

練習生修得式同入場式 四月

本 場

一、二、三、四、六、七、八、九、十、十一、十二月

玉、井種藝部

越ヶ谷園藝部

毎月

二月

入間川園藝部

二、三、四、六、七、八、九、十、十一、十二月

定 價 一部郵税共金 五 錢
一々分郵税共前金 五 拾 錢
二々分郵税共前金 九 拾 五 錢

埼玉縣上尾町縣立農事試驗場内

(電話上尾六一番)

發賣所

踏 霜 會

振替東京六二八番

昭和十一年十二月十五日印刷
昭和十一年十二月二十日發行

編輯兼發行人 松本芳道

印刷 埼玉縣浦和市三八四五

印刷 埼玉縣浦和市三八四五

印刷 埼玉縣浦和市三八四五

發行所 埼玉縣立農事試驗場内

發行所 踏霜會

大正九年六月十五日第三種郵便物認可
昭和十一年十二月廿日發行(毎月一回二十日發行)

農事月報 第二〇一號